

(様式3)

5 今年度の重点課題 (学校アクションプラン)

平成29年度 石動高等学校アクションプラン - 1 -																						
重点項目	学習習慣の定着と基礎学力の伸長																					
重点課題	基礎学力の向上と授業に対する取り組み方(アクティブラーニングの取り組み状況)																					
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・「基礎学力の向上と授業に対する取り組み方(アクティブラーニングの取り組み状況)」という重点課題で、日々の授業を振り返り、授業に対する取り組み状況、主体的・協働的な学びや教師の授業内容や方法について授業満足度調査を年間2回のアンケートを実施し、分析することで日頃の予習・復習や課題の取り組み方を振り返るとともに、教員自らが授業の再点検と改善・見直しをおこなうことにより学習習慣の定着と基礎学力の伸長につなげたい。 ・商業科の生徒はそれぞれの目標を持って、主体的・意欲的に検定取得に取り組んでいる。検定に合格するためには、高校に入ってから学ぶ商業科目の基礎をしっかりと身に付けた上で、それぞれの検定に合わせて自らの力を向上させていく必要がある。授業においても、生徒の学力を伸ばし、検定取得につながるように、常に効果的な指導を模索し工夫していくことが求められる。検定取得が生徒の学ぶ意欲や進路目標の達成にもつながっている。 																					
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のアンケート(授業内容や方法について)でB以上の割合 (1) 授業の内容・説明の理解度について。 (2) 主体的・協働的な学びについて。 (3) 授業のスピードについて。 (4) 説明の言葉や声量について。 (5) 授業内容の興味・関心について。 (6) 質問事項の説明について。 (7) 課題の質や分量について。 (8) 授業の開始や終了時間について。 (9) 生徒の指導について。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価</th> <th style="width: 90%;">評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>とてもそう思う。大変評価できる。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>だいたいそうしている。ほぼ評価できる。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>そうしていないことがしばしばある。あまり評価できない。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>いつもそうしていない。全く評価できない。</td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価基準	A	とてもそう思う。大変評価できる。	B	だいたいそうしている。ほぼ評価できる。	C	そうしていないことがしばしばある。あまり評価できない。	D	いつもそうしていない。全く評価できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・商業科：卒業までに全商主催検定9種目中、3種目以上で1級を取得した生徒数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 50%;">(1)簿記</td> <td style="width: 50%;">(6)珠算</td> </tr> <tr> <td>(2)ビジネス文書</td> <td>(7)電卓</td> </tr> <tr> <td>(3)ビジネス情報</td> <td>(8)英語</td> </tr> <tr> <td>(4)プログラミング</td> <td>(9)会計実務</td> </tr> <tr> <td>(5)商業経済</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	(1)簿記	(6)珠算	(2)ビジネス文書	(7)電卓	(3)ビジネス情報	(8)英語	(4)プログラミング	(9)会計実務	(5)商業経済	
評価	評価基準																					
A	とてもそう思う。大変評価できる。																					
B	だいたいそうしている。ほぼ評価できる。																					
C	そうしていないことがしばしばある。あまり評価できない。																					
D	いつもそうしていない。全く評価できない。																					
(1)簿記	(6)珠算																					
(2)ビジネス文書	(7)電卓																					
(3)ビジネス情報	(8)英語																					
(4)プログラミング	(9)会計実務																					
(5)商業経済																						
	評価B以上が75%以上	10人以上(卒業年度)																				
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を生徒との面接や保護者会での資料として活用する。 ・調査結果を分析し学年・クラス・教科・科目で問題解決を探る。 ・個々の生徒の現状と結果を今後の進路指導につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝や放課後の補習授業を実施する。 ・商業関連部活動を充実させる。 ・3年生1級未取得者に対する特別受験指導を実施する。 ・教員の指導力向上のための校内研修会を充実させるとともに、校外で開催されるセミナー等へ積極的に参加するよう努める。 																				

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)

重点項目	学校生活（心身ともに健全な人格の育成）
重点課題	規範意識の向上と規律正しい学校生活の確立
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの普及に伴い、使用ルールやマナーを守らない生徒や依存症の生徒も見られる。 ・携帯電話やパソコンに関するアンケート結果より、携帯電話・スマートフォンの使用時間が23時以降していない率は、平成27年度52.5%、平成28年度52.7%となった。また、平日3時間以上使用している生徒は、47.1%となり、長時間使用が、生活のリズムを崩し、家庭学習時間の確保の妨げになっている。 ・昨年度、富山ネットルールづくりモデル事業モデル校として、生徒が自ら学校ネットルール4箇条を決定し、働きかけたが、規範意識の低い生徒も多い状況である。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話（スマートフォン）の23時以降の使用しない率
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 70%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話で違反した生徒には、携帯電話を預かり、保護者の協力を得ながら、違反者本人に反省を促すと共に、使用に関してのルール、マナーの意識の向上をはかる。 ・イレブンセブン運動を積極的に推進し、携帯電話やパソコンに関するアンケートを年間2回実施で実態を把握し、夜11時以降の使用を控えさせ、ネット依存にならないよう指導を行う。 ・情報モラルやセキュリティの意識の向上を図るために、授業だけでなく学習する機会を増すと同時に教職員も携帯電話に関する知識を深める機会を作り、生徒への指導を充実させる。 ・PTA総会や各学期の保護者会等で保護者への協力を要請する。 ・生徒主体の活動を通じて、生徒自身で考え注意できる環境を作る等指導の充実を図る。

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった）

重点項目	進路支援（自己実現に向けて生徒自らが努力するための支援の充実）																			
重点課題	進路意識の向上と進路目標の早期設定																			
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の進路選択とその実現のために本校独自の様々な進路支援プログラムを行っているが、各プログラムを積極的に自己の進路につなげて考えようとする姿勢が足りなくなっている。 早期に具体的な進路目標が決まらず、進路の目標実現に向けての学習意欲に結びついていない。また、受験に向けた学習への取りかかりが遅い生徒が多い。 																			
達成目標	① 1・2年生：進路目標設定率（2月の進路志望調査までに、以下の目標について取り組みの満足度と達成した生徒の割合）	② 3年生：希望進路達成率（2学期末の保護者会までに決めた進路目標が達成できた生徒の割合）																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>2年</th> <th>1年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">進路目標</td> <td>進学 志望学科、大学を2つ以内に決定</td> <td>1年 志望学部を2つ以内に決定</td> </tr> <tr> <td>就職 希望業種、職種を決定</td> <td>職業や企業を調べ、希望する職業が言える</td> </tr> </tbody> </table>	学年	2年	1年	進路目標	進学 志望学科、大学を2つ以内に決定	1年 志望学部を2つ以内に決定	就職 希望業種、職種を決定	職業や企業を調べ、希望する職業が言える	<table border="1"> <thead> <tr> <th>進 学</th> <th>就 職</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>志望校への進学が実現(内定) (第4志望校まで含める)</td> <td>就職が内定(職種の変更は問わない)</td> </tr> </tbody> </table>	進 学	就 職	志望校への進学が実現(内定) (第4志望校まで含める)	就職が内定(職種の変更は問わない)						
学年	2年	1年																		
進路目標	進学 志望学科、大学を2つ以内に決定	1年 志望学部を2つ以内に決定																		
	就職 希望業種、職種を決定	職業や企業を調べ、希望する職業が言える																		
進 学	就 職																			
志望校への進学が実現(内定) (第4志望校まで含める)	就職が内定(職種の変更は問わない)																			
	取り組み満足度が90%以上 決定した(言える)生徒 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2年</th> <th>1年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学</td> <td>90%以上</td> <td>70%以上</td> </tr> <tr> <td>就職</td> <td>70%以上</td> <td>50%以上</td> </tr> </tbody> </table>		2年	1年	進学	90%以上	70%以上	就職	70%以上	50%以上	達成した生徒が <table border="1"> <tbody> <tr> <td>進学</td> <td>70%以上</td> </tr> <tr> <td>就職</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	進学	70%以上	就職	100%					
	2年	1年																		
進学	90%以上	70%以上																		
就職	70%以上	50%以上																		
進学	70%以上																			
就職	100%																			
方 策	○進路支援の方策 本校の進路支援プログラムの事前・事後の進路学習を充実させ、年間を通じて継続的・継続的な進路研究につなげ、進路意識の高揚を図る。 〈1年〉 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2学期末まで</th> <th>学年末まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学</td> <td>文理選択に向け学問領域を選ぶ</td> <td>学問領域を絞り志望学部を決定する</td> </tr> <tr> <td>就職</td> <td>働くことの意義を学ぶ</td> <td>職業を調べ、希望する職業が言える</td> </tr> </tbody> </table> 〈2年〉 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2学期末まで</th> <th>学年末まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学</td> <td>志望学科を決定する</td> <td>志望校を決定する</td> </tr> <tr> <td>就職</td> <td>業種、職種を知る</td> <td>希望業種、職種を決定する</td> </tr> </tbody> </table> (支援プログラム) 進路集会・大学等出張講義・PTA自前講座・進路学習・進路講話・大学訪問・OBと語る会・卒業生と語る会・インターンシップ等		2学期末まで	学年末まで	進学	文理選択に向け学問領域を選ぶ	学問領域を絞り志望学部を決定する	就職	働くことの意義を学ぶ	職業を調べ、希望する職業が言える		2学期末まで	学年末まで	進学	志望学科を決定する	志望校を決定する	就職	業種、職種を知る	希望業種、職種を決定する	○学習支援の方策 ・生徒の学習内容や意欲などの実態を正確に把握することにより、進路目標の実現に向けた適切な支援を行う。 ・個々の生徒の学力や志望校の出題傾向を踏まえて、集団指導（補習・進路集会・進路情報冊子の活用）や全職員による個別指導（教科添削・面接・小論文）の充実を図る。 ・入試の過去問を採り入れて実力判断をしたり、過年度生の成績と進路の相関関係を照らし合わせるなどして、学習指導、進路指導を効果的に行う。
	2学期末まで	学年末まで																		
進学	文理選択に向け学問領域を選ぶ	学問領域を絞り志望学部を決定する																		
就職	働くことの意義を学ぶ	職業を調べ、希望する職業が言える																		
	2学期末まで	学年末まで																		
進学	志望学科を決定する	志望校を決定する																		
就職	業種、職種を知る	希望業種、職種を決定する																		

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)

重点項目	特別活動（学校行事を通して自主的な態度の育成）
重点課題	学校行事に対する能動的参加の推進
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・主な学校行事として体育大会・文化部発表会（石高祭）・球技大会があり、多くの生徒はこれらの活動に意欲的に取り組み、集団活動や体験的な活動を通して、豊かな学校生活を築きながら自主性や連帯意識を育んでいる。 ・決められた計画に合わせて参加するだけでは活動意欲を失わせることにもなるので、よりよい学校生活づくりに参画、協働して充実感を得るために、各活動内容に応じて、生徒による自主的、実践的な態度が育成されるような配慮が必要である。
達成目標	<p>① 学校行事（体育大会・文化部発表会・球技大会参加後の充実度）</p> <p>4段階評価による3以上が80%以上</p>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・特活部会を定期的にもち、生徒が各活動に対して能動的なものにつながるような手立てを検討し、支援する。 ・生徒会活動を充実させ、代議員会等も適宜開催するなどして、生徒の視点から参画させることで、より多くの生徒が主体的に関われる場を設ける。 ・行事ごとに事後アンケートを実施し、その結果を踏まえ、今後の活動に改善を加える。

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった）